



課題②

*高低差が10m以上ありますが、南斜面になるため環境的にはいい条件です。

* 左上の図面で道路形状の線が入っていますが、これは南北が吹田市道、東西が大阪府道の都市計画道路が計画されています。

いつか分かりませんが、将来は幅員が 18mと 22mの道路に接道する場所だということです。

* 斜面を利用しての開発は結構いい街並設計ができます。

いわゆる「坂のある街並み」です。

戸建住宅部分の道路の一番高い箇所が標高で 66.4m、直線で下り低い箇所が標高 63.0mで高低差が 3.4m、道路の延長が 60mですから勾配が 5.6%、角度で 3.2 度くらいになります。

*マンション設計は、少々高低差があってもそんなに難しくありません。

高低差（斜面地）をうまく利用して、平均地盤面を設定できますから、今回の開発地のように、地形が悪く高さ制限がある地域、又は容積率が稼げないときなどは逆に利用価値があります。

* 現況の地形はきれいな斜面地ではなく、かなり凸凹がで且つ池も数箇所ありますから、きれいな斜面地に造成する必要があります。左の図面は、地盤の断面図の一部ですが、黄色部分が切土、赤部分が盛土です。一番上の赤部分盛土は擁壁で止まります。

* 開発区域内で土砂の処理をうまく行っても概算で土が 5000 m³程ある計算になります。10 t ダンプカーで最大 6 m³積載できますが、約 840 台分の土を搬出しなければなりません。